

# とんがり通信

## 寒くても元気な馬を見て



## 今年もうまくいきますように



# No.249



～主な内容～

- 施設長コラム
- 仙つのクリスマス
- 実践報告会『すてーじ』
- 法人全体研修
- 三施設合同研修
- Close-up!
- 職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室  
発行責任者 山口 収  
発行日 2021年1月25日  
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16  
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752  
E-mail [sendai@tsudoinoie.or.jp](mailto:sendai@tsudoinoie.or.jp)  
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



## こんな有事に改憲論議？ の巻

『国民の生命と財産を守るため…』この言葉、何度テレビから流れてきたでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、菅総理の会見の際にはお決まりのフレーズです。でも、菅さん、そして国民の代表である国会議員の先生方は、ホントにこのように思っているのでしょうか。到底そうは思えない対応が続いているように思うのですが。。

昨年4月に全国に発出された緊急事態宣言の効果で、一時は封じ込めに成功したかに見えた新規感染者数が、秋を迎える頃には急激に増加し始めました。9月25日には『新型コロナウイルス感染症対策分科会』から政府に対し『感染が拡大してしまった場合には、感染リスクを高める行動を避けるのみでは不可能であり、旅行者の総数を強力に抑制する必要がある』と提言が出されました。そのような中で政府は『Go To Eat キャンペーン』をスタートさせ、『Go To Travel 事業』の対象を拡大し、入国制限を順次緩和してきました。そして現在、第3波と呼ばれる爆発的な感染者増に至っています。。政府のこうした対応は、1回目の緊急事態宣言によって生じた経済のダメージを何とか短期間に取り戻したいという焦りの表れだと思いますが、その間の政権交代や与党内のゴタゴタが判断時期を遅らせ、対応が後手後手に回る現在の状況を生み出してしまったのではないのでしょうか。こうして今月7日からは4都県に、13日からはさらに7府県に対象が拡大し計11都府県に2度目の『緊急事態宣言』が発出されるに至りました。

さて、この『緊急事態宣言』、よく似た言葉で『緊急事態条項』というのを最近よく耳にします。似たようなこの2つの言葉、意外に混同している人が多く誤解されがちなのですが、実はそこには大きな違いがあります。

『緊急事態宣言』は災害対策基本法や新型インフルエンザ等対策特別措置法など、法律に基づいて発令されるものです。昨年3月には、新型コロナウイルスに対しても緊急事態宣言を発出することができるように、新型インフルエンザ等対策特措法は改正されました。

一方で『緊急事態条項』は、憲法を改正して条項を創設しようとする動きです。3年前に自民党が出した改憲素案にも緊急事態条項が盛り込まれていて、いまでもこの素案をもとに憲法改正を主張する動きがあります。では、憲法に『緊急事態条項』が創設されたら具体的にはどうなるのでしょうか。最も重大なのは、『緊急事態が生じた場合に内閣が政令を制定することができる』という点です。つまり、行政府である内閣に『立法権』が付与されるということです。これにより政府に権力が集中することになります。極端な話、政府の思うように政令を作ることができるようになるのです。結果、現行憲法の大きな価値である『国民主権』『三権分立』といったものが根底から覆されることになりかねません。

そもそも大日本帝国憲法下の我が国では、緊急事態条項による国家緊急権が濫用されたことで軍国主義へと突き進んでいきました。国家の体制を保持するため、『ぜいたくは敵だ』『欲しがりません勝つまでは』をはじめとした国民への人権制限が続き、政府の意のままに戦争に突き進んでいく…。そんな轍を踏まないために、日本国憲法にはあえて『緊急事態条項』を設けなかったはずなのです。それがなぜ、今『緊急事態条項』なのでしょう。

思うに、『このコロナ禍のどさくさに！』とか、『国民は馬鹿だから緊急事態宣言と緊急事態条項を混同しておる！』とか思っているのじゃなかろうか。或いは『お願いベースの緊急事態宣言じゃ、ほら感染者減らないでしょ！だから強制力必要でしょ！』なんて、後手後手で増えた感染者数を逆手にとったつもりでいるのかしら。まさかそこまで…と思いつつも、そういえば自ら国民に感染予防の徹底を呼び掛けた直後に、マスクなしで大人数のステーキ会食をするという一國の首相もいますからねえ。とにもかくにも、政治家は政治で遊ばない！国民はもっと大人になって、諦めから脱却してこの国の明日を真剣に考えよう！そう思うコロナ禍の屋下がりなのです。

(管理者 山口 収)



今年も無事に

## 「すてーじ」開催しました！

毎年恒例、『すてーじ』を開催しました。このイベントは仙台つどいの家の日頃の活動の取り組みを映像にまとめお伝えすることで『しょうがいのある方が主体的に生きること、そのために必要なことは何なのか』ということに参加者の方と一緒に考えていくイベントです。例年だと大きな会場を使ってたくさんの方にご来場いただくのですが、今年はコロナウイルスの影響でオンラインでの開催になりました。今年は『菊地愛子さん』『後藤彩也佳さん』の新作の他に、リバイバル上映という形で『阿部明日さん』『岩佐美奈さん』の過去の作品も上映しました。



『繋がる想い』という愛子さんのすてーじでは、自分の思いを伝えることが苦手な愛子さんが、手紙や創作を通して思いを伝えることが出来るようになった過程を映像にしました。独特な世界観から作りだされる創作や『愛子さん語』も魅力的です。



『彩也佳さんの出会い旅』では、日常生活で吸引などの医療的ケアが必要な彩也佳さんが、地域へ出て、様々な人との出会いを求めて旅（活動）をする様子が描かれています。一緒に活動する角田さんが、彩也佳さんの『周囲を変えていく力』を引き出していく様子が映し出されています。

オンライン開催では、例年来仙が叶わず見ていただけない遠方の方々にもご覧いただけたのは大きなメリットだと思います。

どの映像も「どんなに重いしょうがいがある人も生き生きと地域生活が出来る」という理念を体現したような仙台つどいらしい作品になったのではないかと思います。これからも、その気持ちを忘れずに利用者さんと一緒に活動したいと思いました。（記：松原）



## 仙つのクリスマス



コロナな日常の中、仙台つどいの家ではクリスマスを思いっきり楽しむべく、11月にアートの日での早々とクリスマスツリー作りを、けやきグループでは12月に滝口奈美さん主催のサンタパレードを行いました。



クリスマスツリー作りでは、オーナメントを創作し「サンタさんに何て書こう？」「〇〇って書きましたよー」との声が様々な場所から聞かれ、皆思い思いに創作を楽しんでいました。そして、ナント！めいぷるグループは、クッキーで可愛い食べられるオーナメントを作ってくれ、皆が大喜び！！今年は皆の思いがより詰まった素敵なオーナメントで、一足早いクリスマス気分を味わいました♡

奈美さん主催のサンタパレードでは、事前に奈美さんと入念に話し合いを行い、あーでもないこーでもないアイデアを出し合って、奈美さんオリジナルのサンタパレードに仕上げました。職員がクリスマスツリーを模った物を下げ、それぞれのグループのお部屋の前をけやきグループの皆が周り、創作してもらったオーナメントをぺったんと貼って頂きました！主催した奈美さんもみんなのニコニコの笑顔が見られ、テンション高く楽しいクリスマスを過ごせました。来年はどんなクリスマスになるのか、今から楽しみです☆



（記：竹浦）





# 職員全体研修 【 実践発表会 】



12月18日(金)『職員全体研修【実践発表会】』を行いました。今回の研修は、法人内の8事業所の取り組みを全体で共有し、今後の更なる連携と地域生活支援の確立に繋げることで、同じ目的に向かって進む利用者職員との活躍と達成感をたたえ合うことを目的として行いました。また今回の開催方法は、コロナ禍の状況を考慮して、各事業所の取り組みを映像にまとめ、オンライン配信で各事業所にて職員が研修に参加する方法となりました。今回のオンラインでの開催は、法人の全体研修としては初めての試みで、配信方法や環境整備など今後の研修方法に繋がるものとなりました。



全体研修の内容は、各事業所の説明や取り組みなどを20分程度の映像にまとめて発表してもらい、各事業所の特徴や個性がよく映し出されたものとなっていました。【つどいの家・コペル】は『事業所の問題と改善』で、グループを整理・再編成したり、年齢やしょうがい特性に合わせた利用者のグループ異動を行ったり、職員が全ての利用者の支援を出来るようにしたりすることで、個々の利用者の希望も叶えやすくなり、個別の支援に力を入れられるようになったとありました。一つの問題を皆で考え、改善していく過程が見えるものでした。【つどいの家・アプリ】は『食について』で、“突撃！アプリのお昼ごはん!!”ということで、栄養バランスの良い給食を撮ることで心身ともに元気になると、食事の大切さを伝えていました。また、アプリ利用者の給食時の様子が映し出されており、利用者によって食形態や食べ方の違いが分かる内容となっていました。利用者がとても良い表情で美味しく給食を食べているのが印象的でした。【八木山つどいの家】の内容は『地域の方との連携について』で、“地域の方はつどいの家をどう思っているの？”と、八木山つどいの家と繋がりのある方々（応援団）にインタビュー



をしていました。音楽ボランティアや福祉ネイリストの方、東北工業大学の先生や八木山市民センターの館長、コンビニの店長や町内会の会長など様々な方の八木山つどいの家への思いや、つどいの家と繋がるまでの経過や様子などを聞いて、八木山つどいの家は地域に理解されており、利用者や職員の今までの動きが、現在の繋がりに活かされていることがとても分かる内容でした。【若林障害者福祉センター】は『職員の動きを見直そう！』で、他の職員がどんな動きをしているか把握することで、個々の職員がより良い支援が出来るように“PDCAサイクル”を作って実践していま

した。計画、実行、評価、改善と一つ一つ実践していく内に色々なことが見えてきて、支援や業務の効率化に繋がっていくことを知ることが出来ました。【びぼっと南光台】は『びぼっと南光台って どんどこ？』で、「ぺんたす」と「すてっぴ・はうす」の事業内容の説明でした。すてっぴ・はうすで過ごしている利用者の様子や、ぺんたすのヘルパー職員の1日を密着など、法人内でも知らない職員が多い内容でした。【びぼっと支倉】は『びぼっと支倉を知る』で、「とびら」と「だいち」の事業説明でした。とびらの相談員の業務内容や、だいちでの利用の様子など、これもまた普段知らない業務内容を知ることが出来るものでした。特に相談員の動きなどは分かり易く映し出されていました。【ピボット若林】は『自立への足がかり』で、「くれよん」で相談支援している利用者のグループホーム入居へ繋がるまでの経過が映し出されていました。利用者しょうがい特性によって、上手く繋がらないこともあり、相談員の支援する難しさを感じる事が出来ました。【グループホーム】は『グループホームの日々』で、法人内の5つのグループホームでの入居者の様子が映し出されており、通所施設とは違った利用者の様子を見る事が出来ました。そして【仙台つどいの家】は『利用者主体の支援とは 何だろうか?』。2名の利用者の事例を挙げて、利用者の思いを職員がどのように受け止めて支援していくかをまとめました。職員の支援に対する思いが伝わってくるものでした。どの事業所の内容もとても学ぶことが多く、考えさせられるものでした。今回の研修で見た・聞いた・学んだことを日々の業務や支援に活かしていきたいと思えます。とても面白い職員全体研修でした。

(記：佐藤和)

# 三施設合同研修会に参加しました～！

去る11月23日、『三施設合同研修会』に参加しました。これは、長年にわたってたいへん重いしょうがいのある方たちの地域での生活を支援してきた、『朋』（神奈川）・『愛光園』（愛知）・『青葉園』（兵庫）が合同で毎年開催している職員研修会です。昨年度からは他施設からの参加もオープンになり、重症心身しょうがいのある方たちを支援している事業所にとっては、貴重な研修の機会になっています。今年はコロナの影響で、webでの開催ということで、全国各地から参加がありました。

午前中は『個々に共感し俯瞰する力を持とう！』というテーマで当法人前理事長の下郡山和子さんより基調講演をいただきました。重い障害のある人たちの人権を守るため、ノーマライゼーションの理念で何も資源のない時代から仲間を動かし、行政を動かし、社会を動かしてきた実践を下郡山節でお話いただき、何かを成し遂げる時のぶれない理念と不断の努力の大切さを改めて感じました。最後には今を支える職員に向かって、利用者さん一人ひとりを緻密に見る『虫の目』と社会全体を俯瞰して見る『鳥の目』を持ってほしいというエールをいただき、とても元気になる講演でした。

午後は三施設の実践発表でした。どの施設も、コロナ禍において感染防止対策を前提としながらも、いかにして利用者さんの日中の生活を豊かにできるのか、という視点が中心に据えられていて、とても興味深いものでした。研修の途中には、日浦美智江さん・廣瀬治代さん・清水明彦さん・下郡山和子さん…といった、重症心身しょうがい者支援のレジェンドのみなさんからのコメントも寄せられ、これもまたweb研修ならではの楽しみだと思いました。

内容の濃いとても楽しい時間を過ごすことができ、大満足の日でした。近いうちに当日の映像をお借りして、他の職員たちとも共有できる機会を持ちたいと思います。（記：山口）



## 11月22日はエマヌエルの日

## エマヌエル症候群家族会 @ zoom

その前日の11月22日には、『エマヌエル症候群オンライン家族会』が開催されました。以前にもとんがらし通信でお伝えしましたが、仙台つどいの家にはエマヌエル症候群の方が2名（鈴木達紀さんと福地璃子さんです！）通所しています。これってとても珍しいことのようにです。エマヌエル症候群は患者数が比較的少なく、「トリソミー22」、「11/22 不均型転座」、「11/22 混合トリソミー」などいろいろな呼び方がされてきたために把握が難しいのだそうです。今回はオンラインということで、仙台つどいの家を会場にお二人とご家族が家族会に参加しました。

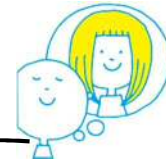


初めに、『歩行リハビリ』や『嚥下』について理学療法士さん・言語聴覚士さんから講演をいただきました。その後、参加されたご家族同士の自己紹介があり、2グループに分かれて交流をしました。今回は0歳から29歳までの17家族が集まりましたが、大半が小学生以下のお子さんです。達紀さんが最年長でした。親御さんたちはみんな、将来我が子がどのような経過をたどるのか、とても不安だと思います。達紀さんや璃子さんが参加することで、成人した後もこうして元気に毎日通所している姿を見てもらえて、少しでも安心してもらえたら嬉しいですね。遠く大阪や熊本の方たちともつながれるオンライン家族会。とっても楽しいひと時でした。（記：山口）





## ヘアドネーションをご存知ですか？



ヘアドネーションは病気や事故で頭髪を失った子どもに、寄付された髪でウィッグ（かつら）を作り、無償提供する活動です。

『さんしょ』グループの長岡美空さんがヘアドネーションを行った時のご様子をインタビューしてみました！



なぜヘアドネーションをしようと思われたのですか？

5～6年前にテレビの特集で知り、3年程前に実際に学校の後輩が行った時の事を聞いて興味をもちました。成人式に着物を着てお披露目するのを目標に高等部のころから髪を伸ばしていました。無事に成人を祝う事ができたので、せっかくならばこの髪を誰かのために使ってもらいたいね、と話していました。当時は50cm切れる程長さがなかったのに更に2年伸ばして今回、55cm程寄付することができました(母)。



これまで、トリートメントは月3本…



ヘアドネーションを体験された前後で何か変化はありましたか？

少々切り過ぎてしまい、これまでのようにまとまらずに毎朝苦戦しています。切った当初はなんとなく寂しい感じもありましたが「もう誰かのウィッグになったかもね」などと話すとニヤリとしていたりします。今回は事業所の懇談会で福祉理容師の森さんを紹介して頂き、すてっぴサロンでカットして頂きました。先輩ママさん達に感謝です！（母）

『どこかのだれか』のためにという願いが詰まった美空さん髪の束はとても力強くとてもきれいでした！（記：堀内）

## Trampo-pit へ Go!!



「五感で感じる外出がしたいなあ～」と、夏に続き視覚にしようがいのあるお二人と一緒に、以前から気になっていた『トランポピット』に行ってきましたなあ～。到着したら「…あれ暗い、ドア開かないね」。コロナの影響で営業が午後1時からに変更されていました。気を取り直して、「食後だと激しくは、ねえ」なんて言いつつも、まずはランチへと足を進め。オープンを待って無事入ることができました。様々なトランポリンにウレタンのクッションプールにボルダリングなど、どこへ行っても揺れる揺れる、埋もれる埋もれる。「これ楽しいい～」と身体全体を使って感じていると、いつの間にか皆汗だくに。普段とは違う環境で身体を使った活動も良いなあと思いつつ、「運動クラブを設立して定期で来ようか」なんて話しながら水分補給。



オフレコですが…私の父の大親友が運営をしていたため、「時間制限なく遊びな～！」なんて言葉に甘え、大満喫したのでした。また伺いまあーす。皆さんにもオススメです、ダイエットや運動不足にも是非(\*^\*)v ああ、そうそう。入り口にスロープ付けて欲しいなあ。

(記：鈴木)



## 藤田優也さん Close-up!

今回の Close-Up!! のコーナーは藤田優也さんです。藤田さんといえば、工房でお仕事が好き! のイメージがあるかもしれませんが、実は音楽も大好きでカラオケの時間には、様々なバリエーションの歌を歌ってくれます。特に藤田さんがリクエストする曲で多いのは AKB48 の「365日の紙ヒコーキ」や 秦基博の「ひまわりの約束」や嵐の「Happiness」などです。もちろんその他にもいっぱい知っている曲があると思うので藤田さんに会ったらたくさん歌をリクエストしてみてください☆



そしてまだまだあります! 藤田さんの素敵なところ!!! それは、他の方のお手伝いをしてくれることです。車椅子の方を押してくれたり、同じグループで次の活動の場所にちょっと行くのをためらっている方の手を「一緒に行こう」とひいてくれたり自然に気づかいをしてくれます。給食で皆が食べ終わった後の椅子の片付けを積極的に行ってくれたり、パン販売のときに重いばんじゅうを持ってくれたりしています。藤田さんの気づかいにはいつも助けられることが多いです。この

場を借りて藤田さん、いつもありがとう!!

そんな藤田さんは、水曜日の午前中めいぶるショップでお店番をしています。藤田さんがお店番をしている日はなぜかいつもよりお客さんが来てくれることが多くて、とても嬉しいです。一生懸命ショップの窓ふきやトレーふき、レジ打ちをしているのでぜひ水曜日はめいぶるショップで頑張っている藤田さんに皆さん会いに来てくださいね!! (記: 吉田)

## 今回の職員コラムは・・・寺島朋子さん です!

昨年4月から仙台つといに異動し、早くも9ヶ月が経ちました。好きなライブにも温泉にもコロナの影響でなかなか行けず、インドアの趣味がはかどる今日この頃です。その結果、特別に書けるようなことが消失したため、僣越ながら個人的に好きな・最近読んで面白かった本を紹介させて頂きたいと思います。



### 百鬼夜行シリーズ (京極夏彦)

戦後日本を舞台としたミステリーシリーズ。各タイトルに書かれた妖怪をイメージさせる怪事件が多々起こりますが、探偵(古書店を営む神主)により、登場人物の背景やしがらみも含め、あらゆる謎が合理的に解かれていく様が読んでいてスッキリします。「魍魎の匣」が読みやすくおすすめです。

### 阿佐ヶ谷姉妹の のほほんふたり暮らし (阿佐ヶ谷姉妹)

お笑いコンビ・阿佐ヶ谷姉妹の同居生活の様子を、二人の視点から交互に書いたエッセイ。江里子さん(右)と美穂さん(左)の性格の違い、部屋(六畳一間)のスペースを巡る小競り合い、なぜか台所の小物が消える…等、リアルな日常の出来事がゆる〜く書かれておりほっこりします。

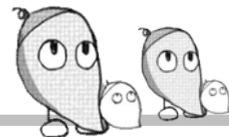


### 忌録: document X (阿澄思惟)

全4話のホラー短編集。ある出来事や人物の記録を淡々と読み進めていくのですが、全編通して不気味な雰囲気が漂い、また各記録の意味を深読みするとゾッとした寒気を感じられます。電子書籍を生かした仕掛けもあって Amazon で300円!

ここ1年で久々にじっくり本を読む機会が増えましたが、好きなジャンルのものを読み始めると夢中になってしまいますね! 面白い本があればぜひ教えてくださいね。(記: 寺島)





## スケジュール schedule

### 令和3年 2月

- 4日 (木) 音楽療法
- 6日 (土) 休日開館日 (めいぷる)
- 9日 (火) ケース会議 13:30降所
- 10日 (水) 無線訓練
- 11日 (木) 建国記念日 休館日
- 17日 (水) 施設懇談会
- 18日 (木) 音楽療法
- 19日 (金) 防災訓練
- 23日 (火) 天皇誕生日 休館日
- 24日 (水) ケース会議 13:30降所



### 令和3年 3月

- 4日 (木) 音楽療法
- 11日 (木) 法人職員研修会 13:30降所
- 15日 (月) 給食提供お休み
- 17日 (水) 施設懇談会
- 18日 (木) 音楽療法
- 31日 (水) ケース会議 13:30降所



## ご協力ありがとうございます

### ボランティアとして協力して頂いた皆様

(11月11日~1月10日まで)

吉田さん

### 見学・来訪者など

後援会会長 (針持さん)、佐藤良重さん(事業所見学)、共栄防災、ハンズ宮城野、青葉短期大林さん、橋本さん、結核予防協会石堂さん、尚網学院及川さん、日新設備、風の郷工房、ヤクルト、今庄青果、鈴木米穀、マルイ、マルキ水産、サトー商会、米夢、ダスキン、ホシザキ東北、仙台大気堂、日本テクノ、ジェーシーアイ、バイタルネット、ハート総合企画、

法人職員：佐藤理事長、下郡山理事、佐藤(吉)、飯田、福地、小野、安斎、加藤、小沢 ほか多数

(以上、ご芳名順不同)



## 缶回収 11月・12月・1月の納品

合計 2,992 円でした。

ご協力有難うございました。



## 編集後記

今年は雪がすごいですね！車がスリップするのが怖くて、一週間徒歩通勤をしました。家から仙つまでの道のりを快適に歩くため新しいブーツを買ったり、たいして音楽を聞かない癖にワイヤレスイヤホンを買ったりしながら徒歩通勤を楽しんでいました……。が、1週間後悲劇が起こりました。

寒い中暫く車に乗らなかったせいでバッテリーの電力が弱まり、エンジンがかからなくなったのです。泣く泣く業者を呼び、高い出費を払う事になりました……。冬場、車に乗らない事が多くなると思いますが、バッテリーを充電するために3日に一回20分はエンジンをかけると良いとのことでした。

寒さが厳しくなりますが、体調を崩さないようにお気を付けください！

(記：松原)